

愛知川と琵琶湖の自然に学ぶ

—愛知川流域に於ける環境学習プログラムの企画と実践—

佐瀬 章男(社会人コース)

1、はじめに

本研究課題では従来あまり学習プログラムの作成されていなかった、鈴鹿山系から琵琶湖に注ぐ全長 41 キロの愛知川を対象に、自然体験学習プログラムを企画し実践することとした。

2、目的

夏休み中に小学生 4 年～6 年の親子で「愛知川と琵琶湖の自然に学ぶ」に参加してもらい、川の働きや、川をとりまく自然の現状を体験し理解し、私達の日々の暮らしに川の水がどうかかわり、琵琶湖に入ってその水がどう生かされているかを考えるきっかけを提供する。

3、方法

体制：所属の NPO 法人「滋賀県生涯学習インストラクターの会」の事業として実施する。

資金：独立行政法人「国立青少年教育振興機構」の子どもゆめ基金助成金を申請、活用する。

企画：滋賀大学環境学習支援士履修の学習成果を生かして企画案を作成・実施する。

参加者の募集：参加者募集用チラシの配布、各新聞県内版行事案内の活用、地元広報活用、会場の選定(夏期の学習なので川の現場と屋内会場の 2 本立てで構成する。)

- ・川の学習現場 → 関係部署への相談 → 現場調査による選定
- ・教室等の屋内学習会場 川の学習現場周辺の調査により決定

4、実施内容

第 1 回 平成 19 年 7 月 28 日(土) 愛知川上流 東近江市蓼畑町	子供 34 名 大人 9 名	内容の概要：水の話、森の話、水を調べる、 水中生物調査、ダム見学、まとめ
第 2 回 平成 19 年 8 月 19 日(日) 愛知川中流 東近江市山上町	子供 20 名 大人 17 名	内容の概要：水中生物の話、水を調べる、 水中生物調査、川のスケッチ、まとめ
第 3 回 平成 19 年 8 月 25 日(土) 愛知川下流 東近江市伊庭町・ 阿弥陀堂町・近江八幡市沖島	子供 15 名 大人 4 名	内容の概要：能登川水車見学、 水を調べる、水中生物調査、 沖島と琵琶湖の話、沖島の見学

5、実施結果と考察

- 1) 当初の計画は 4 回の開催に同じ児童に継続して参加してもらおう計画であったが、夏休み中児童は忙しくて、参加者の確保が出来ず、各回別の参加者で 3 回の実施となった。
- 2) 上記の結果愛知川の上流・中流・下流を続けたて学んでもらうねらいは未達成であった。
- 3) 学習を通して水の大切さを学び、自然環境の大切さを理解する事であったが、参加者の複数の感想からこの点は達成された。

6、今後の課題

- 1) 児童を対照とした自然教室の参加者募集には、児童の所属する団体との共催が望ましい。
- 2) 夏の屋外でのプログラムは内容的・時間的に余裕を持った構成にする必要がある。
- 3) 多数の児童を対象にする学習では、指導者は複数で分担して担当し、効率的に進行する。
- 4) 教材や学習用具は事前に充分検討し、学習効果に結びつくものを選定する。
- 5) 川の学習では現場の事前調査を確実に言い、安全面と学習効果の両面より確定する。